青色申告のおすすめ

今年こそ、あなたもぜひ

所得税の青色申告は、毎日の取引を記帳し、正確に所得や税額を申告をする人に有利な取扱いをすることになっています。そこで、まだ青色申告をしていない人のために、青色申告の一般的な特典と手続を簡単に説明しましょう。

◇青色申告の特典

①青色申告控除＝通常一〇万円（⑤の「みなし法人課税」を選択した人は受けられません）

②青色専従者給与＝生計をいっしょにしている親族で、事業に専従している人に支払った給与（労務の対価にふさわしい額で、あらかじめ届け出た金額の範囲）

③貸倒引当金＝年末の売掛金や貸付金の合計の五・五%（金融業は三・三%）

④価格変動準備金＝通常年末たな卸高の三%までの金額

⑤みなし法人課税＝青色申告をしている人の所得税については、法人の場合とほぼ同じ課税方法を選択することができます。

この方法を選択すると、事業主が事業から受ける報酬は事業所得ではなく、給与所得として給与所得控除の適用が認められます。

◇青色申告の手続き

新しく青色申告をしようとする人は、その年の三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署へ提出してください。

※帳簿のつけかたや、決算のしかたなどでわからないことは、お気軽に税務署へ相談してください。

◇青色申告は税金が安くなる

所得税の青色申告をすると青色申告をしていない人に比べて、税金がどのくらい安くなるでしょうか。例をあげてみましょう。

48年分の所得金額が二〇〇万円、事業専従者給与八四万円（奥さんと長男）、年末の売掛金五〇万円、たな卸資産一二〇万円、扶養親族は子供二人のお店の場合、青色申告をすると所得税は約七万六〇〇〇円も安くなります。

また、所得税だけでなく住民税や事業税も安くなるのでそれらをあわせると、青色申告をしていない人の税金は約二二万六〇〇〇円、青色申告をしている人の税金は約七万七〇〇〇円となり、一四万九〇〇〇円も安くなります。

◇納税者の大半が青色申告

関東信越国税局管内の営業所得の青色申告者数は、二四万九、四〇〇人（48年3月現在）で、所得税の納税者の大半の方が青色申告をしています。

これを県別にみますと、

○埼玉県＝七六、八〇〇人
○茨城県＝三三、七〇〇人
○栃木県＝三三、六〇〇人
○群馬県＝二九、九〇〇人
○長野県＝三四、五〇〇人
○新潟県＝四一、九〇〇人

となっています。

このように、青色申告をする人が多いのは、税金の面で有利となるだけでなく、帳簿をつけることによって、経営の内容や、資金繰りの状況などがよくわかり、経営の合理化にも役立つことが理解されてきたあらわれと考えられます。

所得税などの申告はお早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。三月に入りますと、納税相談会場は大変混雑しますから、ご相談においでになる方は早めにおいでください。

所得税の確定申告をすれば個人事業税や、個人住民税の申告をする必要はありません

また、個人住民税の申告をすれば、個人事業税の申告をする必要はありません。

源泉徴収された税金や、予定納税した税金などで税金を納めすぎている人は、早めに確定申告をすれば、それだけ早く税金がお手もとにかえります。

児童手当、四月から拡大

対象者は請求手続きを

四月から児童手当の支給対象範囲が拡大されます。現在は昭和四十八年四月一日から昭和四十九年三月三十一日までは、「昭和三十八年四月二日以後に生れた児童を含む十八才未満の児童三人以上の児童」とされてきましたが、昭和四十九年四月一日からは、「義務教育終了前の児童を含む十八才未満の児童三人以上の児童」に月額三千円が支給されますので、支給対象者は次により役場住民課へ請求手続きをしてください。公務員と公共企業体の職員の方についての認定と支給は、その勤め先で行なうことになっています。

なお、児童手当をうける場合は、所得制限がありますからご留意ください。

◎請求手続

受付　昭和四十九年一月より

携行品

①印鑑

②厚生年金保険等の被用者年金制度における被保険者は、厚生年金保険等の証書か、または、その記号、番号の写し。

2月は保険税第6期の納期です

自治功労者を表彰

渋谷氏ら五氏

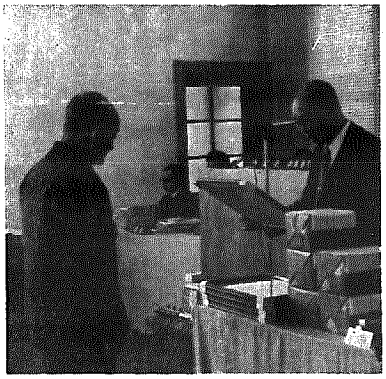
村の表彰規程により、このたび渋谷健作氏ら次の五氏が村の自治功労者として表彰されました。

表彰された五氏は、それぞれ議会議員教育委員および村職員として多年にわたり村自治の発展に尽された方々です。

表彰伝達はさる十二月二十七日役場議場において、村長から表彰状と記念品が授与されました。

☆被表彰者☆

渋谷　健作氏　議員　十八年
伊藤　惣衛氏　議員　十七年
内山　平一氏　議員、教育委員　十九年
神田　勇氏　監査委員　十年
戸石ジュン氏　村職員　三十年
村職員二十五年



自治功労者表彰式

ご存じですか？

内部障害者の入所生を募集しています

○目的

内部障害者の健康管理を行ないながら技能を身につけ、社会復帰（就職等）を促進します。

○対象

肺結核、肺気腫、肺センイ症、肺化膿症、気管支喘息、気管支拡張症等の既往症のあるもの、及び心臓、腎臓等の障害です。

○資格

十五才以上の者で、医師が訓練指導を行なって差支えないと認めたもので、精神障害のないものです。

○入所費用

生活保護世帯及び低所得者は無料です。

無料の者は月六、八九〇円の小使い及び訓練手当二、五〇〇円が支給されます。

高額所得者については、食費のみ負担してもらいます。

○外出、外泊

ほとんど自由です。

○健康管理

嘱託医の診療が受けられ、薬を続けながら入所できます

定期検査は毎月行なっており、異状のある場合、夜間でも往診が求められます。

体力に応じた勉強ができ、共同生活の中で療養の程度や体力に見合う仕事の量が体得できます。

○訓練科目

電気科、洋裁編物科、経理簿記科、印刷科。

○その他詳細については福祉事務所か、役場住民課へ問合せください。

村税納期の個人通知廃止

村税の納付には日頃ご協力を賜り感謝いたしております。

過去数年間村税の納期ごとに各個人宛納期限等をお知らせしていましたが、これは県下でも下位にあった本村の収納率を高めるための一措置であります。その後振替制度の設定、納税組合の拡充、納税者の自覚等のご協力によって、管内でも優良町村に位置するに至りました。

よって今回消費節約、省力等を画るため「村税納期のおしらせ」を発展的に廃止することにし、今後は「広報よこごし」を通じてその月の納税期日をお知らせすることにしましたので、今後とも一層のご協力をお願いします。

十二月定例議会

47年度決算等を認定

十二月十七日に招集された定例村議会は、会期を十一日間とし、47年度決算の外、48年度補正予算、諮問、決議文等十四件が審議されました。

本会議は、十七日、十八日二十七日の三日間をあて、あとは常任委員会による付託条件等の調査、審議にあてられました。本会議第一日は十名の議員が村政に対する一般質問を村執行部との間に行ない第二日は提出議案の総括説明と質疑がなされ、最終日の二十七日は、付託議案の審議結果報告の後、採決を行ないました。

可決された議案の主なもは次のとおりです。

◎専決処分した事件の承認について（一件）

◎48年度一般会計補正予算（一件）

◎村職員、議会議員の48年度期末手当の調合等の特例に関する条件（二件）

◎47年度決算の認定について（一般会計、国保会計、農業共済会計）（三件）

……以上原案承認可決

◎水道バイパスに関する請願書……不採択

◎宅排の整備並びに維持管理に関する陳情書……不採択

◎婦人健康診断の費用助成に関する請願書……採択

◎一月三日並びに祝日の郵便配達廃止に関する請願書……採択

◎水田転換特別対策事業に対する助成請願書……採択

◎新潟地方法務局亀田出張所の存続要望に関する決議

……原案可決

横越小の老松

ついに大往生を遂げる

横越小学校の象徴とされ、かって校歌にも「みどり色濃き老松の」と詩われた、樹令百三十年（推定）の老松が、さる十二月六日折からの風雪に耐えきれず、無惨に根本から折れ倒れてしまいました。

老松の記録は定かでないが樹令からみて開校時からあったものと思われます。

この老松は文字どおり幾歳月、多くの学童とともに育まれ立派に大きくなり、私達にうるおいを与え、深い親しみを感じさせてきました。またたずねる人々の目にうつる変らぬ姿は、心のやすらぎをも与えてきました。

近年大気汚染や、環境の変化が激しく、樹勢もめっきり衰え行く末を案じている様でした。ときあたかも統合校舎建築の槌音を聞き、自からの運命を悟ったのでしょうか。

朽ち果てた偉大な老松を、横越小学校の伝統とともに讃えたいものです。

うっ伏した老大松